# SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL ／ FAX　024-567-5322
Web　http://www.nposhalom.net
Email　info@nposhalom.net
発行責任者：大竹静子

## シャローム総会終了報告

### 総会終了報告と令和二年度の取組み

今年度の総会は、コロナウィルスによる自粛から、一堂に会する総会を断念し、書面決議をもって行われました。理事会を五月三十日に開催し、五月三十日付をもって審議事項はすべて承認された旨を確認いたしました。

（正会員四十八名、回収三十四名（有効三十四名無効0）

議案は以下の通り承認されました。

●第一号議案
令和元年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告について
・・・承認する　三十四名、承認しない　0名、無効　0名

●第二号議案
令和二年度事業計画及び収支予算について
・・・承認する　三十四名、承認しない　0名、無効　0名

今年度も「ひまわりプロジェクト」や教養講座「地元学を考える」が主要事業となります。しかし、地域間交流や人の集まる講座の開催が、コロナの影響で大きく制限され、子どもひまわり大使派遣事業の助成金申請も不採択の結果となりました。これに伴い、直接的な交流機会を作りにくい状況を補うためにネット環境の整備と活用を進めて行くこととし、新たな取り組みも始めています。

「ひまわりプロジェクト」では、栽培に取り組む現場の情報を「ひまわりブログ」に掲載し、栽培現場と福島を繋ぐだけでなく、栽培現場同士を繋ぐ情報共有の場となることを目指して内容の充実を図っています。栽培拠点となっている団体等を繋いだテレビ会議の開催等も検討しています。

地元学は会場が三密になることによる参加者の不安を避けるため、講演をビデオ映像化しユーチューブでネット配信する試みを始めました。第百九十六回の地元学が、シャロームのホームページのトップ画面からすぐに見れるようになっていますので是非ご覧ください。

今年度は、一同に介して直接交流することが困難な状況を克服する手段として、ネット環境の活用が一段と進むこととなりそうです。

●新年度の取組紹介

シャローム福祉会の就労支援施設「まちなか夢工房」は、障がいを持つ皆さんが働く「まちのパン屋さん」として営業してきましたが、コロナの緊急事態宣言時には利用者の皆さんは在宅とし、解除後も時間短縮等を実施しており、店も正常な営業ができない状態にあります。

このような中にあっても前向きにコロナ後の活動を見据え、まちなか夢工房の歴史が人々の繋がりを紡ぎ開発した食パン「夢詰麦」（ゆめつむぎ）をグッドデザイン賞のコミュニティづくり部門に「幸せをつむぐパン」として申請することとなりました。結果の発表はまだ先となりますが楽しみに待ちたいと思います。

応募の概要は「食パン『夢詰麦』を通したコミュニティデザイン。障がいを持つ仲間たちが作り手となり、地域の皆さんと共に開発し、一斤販売すると三十円がルワンダの教育を考える会により、ウムチョムイーザ学園に寄付され、学校給食一食分が提供される。夢詰麦の活動が国境を越え公平な教育と就労環境を創造し、人と人が繋がり幸せが循環する未来を紡いでいく。」

コロナが人々の活動を止め、国内で、そして海外で人々を分断し生活の破壊が起きています。内戦から立ち直り復興が進んできたルワンダですが、内戦で親を亡くした子どもたちが親の世代となり、心の奥には傷跡を深く残しながら貧困の中で生きています。食事↘

↘もままならない子どもたちを再び作らないために、この活動が僅かでも助けになればと考えています。皆さんのご支援をよろしくお願いします。

（シャローム代表　大竹静子）

### 愛のメモ帳

六月を迎え、真夏日が続き毎日暑い。梅雨入り宣言が出されたというその日、もう少し降るのかと思っていたが、畑に如雨露（じょうろ）で水を掛けた程度で終わってしまった。今年は自宅の脇にある家庭菜園に野菜の種を蒔いた。自分で手を掛けた野菜が成長して行くのを毎朝出勤前に眺めるのが日課となる。

二枚葉が芽を出したと思っていると、日に日に成長していく。すっかり食べ頃の野菜に成長したと眺めていると、いつの間にか虫の開けた穴が目立ってきた。虫も食べ頃をよく見ているようである。周囲には蝶の飛びかう姿も増えてきた。自然の中で動いている時間は、人間社会の煩わしさを忘れさせる一時を与えてくれる。

一粒の野菜の種、大根、カブ、ほうれん草、すべてが間違わずにそれぞれの芽を出す。根は大きくなるが、大根はカブにはならない。その葉を食べる虫もそれぞれ違う。何気ない営みは、己の役割を忘れず、関わり合いながら続いていく。その一コマに何気なく混ぜてもらっている自分がいる。自然の営みに生かされる仲間たちの世界。（T・O）



## ひまわりプロジェクト 2020

### 協力者様の取組・連携ご紹介

六月も後半となり、今年度の「ひまわりプロジェクト」では種の配布を終えました。継続的にご協力下さっている皆さまからご紹介を受けたご新規さん、ホームページ等で活動を知ってお申し込み下さった方々など、令和二年度も多種多様な皆さまがご協力下さっています。

北海道から沖縄まで南北に長い日本。そこにお住まいの皆さまは個人、会社、グループ、地域と、様々なかかわりの中でひまわりをお育て下さっています。多様な栽培ご協力の中心には、皆さまに共通する「他者のために何かできる事をしたい」という温かな思いがあります。

津々浦々、多種多様だからこそ身に染みる皆さま共通の善意に、福島に住む私たちはいつも励まして頂いています。二百八十件にも上る今年度のご協力者の皆さま、誠にありがとうございます。

【ご紹介】
**学校連携での栽培ご協力**

東京都立深沢高等学校では家庭科部の皆さまが六年続けてひまわりを育てて下さっています。昨年、都内の家庭科部・クラブが集まる会議で「ひまわりプロジェクト」について事例紹介をして下さいました。その発表を聞いた他の都立高校の皆さんから続々と参加のお申し込みを頂き、十校にまで増えました。今年は当初から新型コロナ問題が広がり、学校も休校中だったため、先生方が花壇を整備し、種を植え、水を遣って下さっていたようです。大変有難いことと思います。

東日本大震災に端を発する原発事故は、生活の全てに影響を及ぼしました。家族・健康・食・住まい・環境・・・思うに、家庭科は人の暮らしや社会制度にまで至る広い範囲を学びます。家庭科から原発事故を振り返り、学び、家庭科のネットワークで知見を広げて頂くことの重要性や必要性をひしひしと感じます。今回、いみじくも栽培のお申し出を頂きましたことで、若い世代にもしっかりと「福島の教訓」が受け継がれ、深く学んでいただけるものと考えています。実に興味深く、大切な活動に結び付けて下さり、非常に嬉しく感じています。ありがとうございます！

東京のど真ん中！
都立六本木高校家庭科の皆さんによるご紹介

以下、ホームページより
http://www.roppongi-h.metro.tokyo.jp/site/tei/content/000422404.pdf

【お知らせ】
**「花鈴人（かりんと）サマーフェスティバル」に参加します！**

滋賀県大津市で音楽教師をされているTさんは、昨年夏のひまわり大使ツアーにもご協力下さり、大使による作文発表にも耳を傾けて下さいました。このほど、ご自身のグループでイベントを開催なさるにあたり、ひまわりプロジェクトをご紹介下さることになりました。

ちょうど、福島県の補助金「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」に落選し、意気消沈しておりましたところの嬉しいお誘いです。

同じく昨年のツアーや国際交流支援でお世話になっている滋賀県栗東市のNさんは、ご自身の活動との連携策として、大阪コミュニティ財団の助成金を獲得して下さいました。Nさん獲得の資金から援助を得てTさんのイベントに参加できることになり、大変有難い限りです。関西にお住いの皆さまにお会いし、交流の機会に出来ればと思いますので、皆さま、是非、お足をお運びください！子どもひまわり大使が若干名参加し、作文を通じて「福島の経験・教訓」をお伝えします！

（ひまわりPJ 事務局・吉野）

### ひまわりブログ 復旧のお知らせ

URL
http://shalom-net.jp/?cat=16

先月から調子が悪かった「ひまわりブログ」ですが、このほど復旧いたしました。更新・掲載が遅くなり、申し訳ありませんでした。ここに改めてご紹介いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。また、ご自身がお育て下さったひまわりのご様子などにつきまして、写真や文章等でお寄せいただけましたら嬉しく思います。こちらもブログ等でご紹介させて頂きます。

https://ameblo.jp/otohanahito/entry-12603446892.htm　音と花と人との会　ブログより



## 教養講座 地元学を考える

第百九十六回「地元学を考える」（二〇二〇年五月二十四日開催）

### 「二宮金次郎（尊徳）の教えに学ぶ～飢饉の村の復興を成した報徳訓」

講師　畠中　正一さん

講師の畠中氏は、「二宮金次郎（尊徳）」の教えを今に伝える活動を行っている「相馬報徳社」の副理事長を務められています。相馬藩は、江戸時代末期の大飢饉に際し二宮尊徳の教えを守り、藩の復興を成し遂げた歴史を持っています。当時の治水工事の遺構は現在も多く残り、そのまま今も生かされています。そこには、江戸時代末期の二宮尊徳の生きた時代とその実践哲学を知ることができます。

その教えは、報徳思想として、日本的経営の源流の中に渋沢栄一（明治）から松下幸之助（昭和）まで脈々と引き継がれていると言うことです。その系譜と社会的評価を考えていくことは、原発事故やコロナ危機後の社会を考えて行く上で多くの示唆を与えてくれるものと思います。改めて先人の教えに耳を傾けてみたいものです。

今回の会場として貸していただいた古民家は、国指定有形登録文化財となっている佐藤家住宅です。講師の後の壁には自由民権運動で有名な河野広中の額「新志（新しい志し）」が掛けられています。会場全体がタイムスリップしたような歴史的な関わりを連想させ、二宮尊徳の時代に想いを巡らすこととなりました。

尊徳の教えは、報徳仕法と言われ、「分度」「推譲」など、聞き慣れない言葉が多く馴染み難い所もありますが、説明を聞いているとその意味の深さに驚かされます。是非動画をご覧になり確認していただければと思います。

報徳思想の基本をなす「報徳訓」を紹介します。

**父母の根元は天地の令命にあり**
**身体の根元は父母の生育にあり**
**子孫の相続は夫婦の端正にあり**
**父母の富貴は祖先の勤功にあり**
**吾身の富貴は父母の積善にあり**
**子孫の富貴は自己の勤労にあり**
**心身の長養は衣食住の３つにあり**
**衣食住の３つは田畑山林にあり**
**田畑山林は人民の勤耕にあり**
**今年の衣食は昨年の産業にあり**
**来年の衣食は今年の艱難にあり**
**年年歳歳報徳を忘るべからず。**

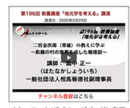
私たちの日々の生き方の基本を教えてくれています。これをみんなで実践して行ければ明るい未来が開けていくことだろうと感じながら聴かせていただきました。（T・O）

◀▲講師の畠中氏。第 196 回講座から YouTube で視聴できるようになりました。遠方の方にも地元学講座をお楽しみいただけます。

### お知らせ　地元学講座 オンライン配信スタート！

第百九十六回講座は四月十一日開催の予定でしたが、新型コロナウィルスによる緊急事態宣言発令で延期となり、その後外出自粛の緩和を受け五月二十四日にようやく開催いたしました。全国で緊急事態宣言は解除となりましたが、感染の第二波が懸念される当面の間は、少人数での開催とすることにいたしました。そこで、新たな取り組みとして、講座に参加できない方々に向けて動画での配信を行うこととなりました。

今回の講演内容は編集され、シャロームのホームページ（ユーチューブ）にアップされています。ホームページのトップ画面からすぐに見られるようになっています。是非ご覧ください。




▲シャローム HP のトップページに動画リンクがございます。

URL
www.youtube.com/channel/UCNqEo3kUXXGnUh036YJwJNg

YouTube チャンネル名
【公式】NPO 法人シャローム チャンネル

チャンネル登録と動画更新通知を ON にすると、最新のアップロード動画が見やすくなります。

QR コードからもチャンネルをご覧いただけます

### 教養講座 地元学を考える　第百九十七回 予告

**からだの痛み軽減体操**

〈講師〉水戸　章氏（ニューライフ体操教室　主宰）
〈日時〉2020 年 6 月 27 日（土）　13:30～15:00
〈場所〉市民活動サポートセンター会議室 A1
〈参加費〉500 円
〈定員〉先着 10 名
＊持ち物：ヨガマットまたはバスタオル

＜講演内容＞
今回の体操は、それぞれの体にある痛みを軽くすることを中心にして実践してみましょう。私たちの体は毎日の動きの中でつくられています。自分の体に気付き、痛みのある方は今回体操の中でその痛みを軽減して下さい。寝転がったまま力を抜いて行う体操で、痛み改善、ゆがみ改善、体調改善、体質改善に効果があります。

＜講師プロフィール＞
1977 年福島市に出生、現在健康寿命を伸ばすことを目標に、福島市蓬莱にてニューライフ体操教室を主宰。
県北体操協会理事長 中高老年期運動指導士 ジュニアスポーツ指導員
国士舘大学体育学部卒業

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、現地での参加人数を制限しますが、シャロームの公式ユーチューブチャンネル（http://nposhalom.net/）より後日配信いたします。



## 活動のご報告

2020 年 4 月 26 日～6 月 25 日

| | |
|---|---|
| 4 月 28 日 | 夢工房　まちの駅総会参加 |
| 5 月 8 日 | 憩〈農福連携〉果樹農家見学 |
| 5/12, 14, 19, 25, 26, 6/1 | 憩〈農福連携〉施設外就労参加 |
| 5 月 18 日 | 憩〈販売〉いきいき！福祉マーケット |
| 5 月 19 日 | 事務局　総会監査 |
| 5 月 21 日 | 事務局　生協「スペースラブリ」棚卸し |
| 5 月 24 日 | 第 196 回　地元学講座<br>「二宮金次郎（尊徳）の教えに学ぶ<br>～飢餓の村の復興を成した報徳訓～」<br>講師　畠中正一さん |
| 5 月 29 日 | 事務局〈ひまわり〉厚木教会様来訪 |
| 5 月 30 日 | NPO 法人シャローム　令和 2 年度理事会開催 |
| 6 月 7 日 | シャローム福祉会　令和 2 年度理事会開催 |
| 6 月 8 日 | 地域福祉 「県北地区福祉事業所情報共有 HP」運営開始 |
| 6 月 9 日 | 憩〈販売〉福島市いきいき展示販売会 |
| 6 月 12 日 | 地域福祉　代表者会議開催 |

## 活動予定

2020 年 6 月 26 日～7 月 25 日

| | |
|---|---|
| 6 月 27 日 | 第 197 回　地元学講座<br>「からだの痛み軽減体操」<br>講師　水戸　章さん |
| 6 月 29 日 | 地域福祉・夢工房　福島市長へフェイスシールド贈呈式 |
| 6 月 30 日 | 憩〈販売〉いきいき！福祉マーケット |

のし対応　納期 10 日　全国配送

**お中元にいかがですか！**
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

ひまわりプロジェクト
**みんなのギフトセット**
ご注文承ります

栽培協力者の皆さまの温かなお気持ちがこもったひまわりの種で、オイルとおせんべいのギフトセットを作りました。

### 編集後記

NHK の朝ドラ「エール」主人公のモデル・古関裕而さんは福島市の出身。福島の街中の至る所でドラマのファンの方々をお迎えする準備がされています。これから福島は桃が美味しい季節を迎えます。県外の皆さま、ひまわり交流も兼ねてぜひ福島を訪れてみてくださいね。（A・O）

### 活動紹介　地域福祉ネットワーク会議の活動について

NPO法人シャロームとシャローム福祉会、合同会社楽膳は、地域福祉拡充を目的に「福島地域福祉ネットワーク会議」に参加しています。この活動は、福島市小規模法人ネットワーク化協働推進事業として福島市（中核市）が厚労省の事業を受託したもの。高齢者・障がい者・児童の福祉を担う社会福祉法人やNPO、ボランティア団体が、互いの活動分野の垣根を越えた協働を進め、地域共生社会の実現を目指しています。今年二年目を迎え、活動が広がってきましたので一部ご紹介します。

**新型コロナ対策としての「フェイスシールド製作～寄贈プロジェクト」**

福島地域福祉ネットワーク会議の企画運営、まちなか夢工房が所有する3Dプリンターを活用し、ボランティアの理系大学生と共に準備。三百個を福島市登録の手話通訳者さん、福祉事業の現場を担う方々に寄贈。市内の二十三地域包括支援センターを通じて、必要とする事業所さんをご紹介頂いています。

**福島の誇りである果樹農家さんをサポートする「農福連携プロジェクト」**

フルーツライン沿いの土船区を中心に、高齢化や人手不足に悩んでいる果樹農家さんを支援するため就労支援B型作業所の施設外就労として協働で作業にあたります。あづま授産所さん、ベーシック憩の職員・利用者さんが、吾妻連峰を仰ぐリンゴ園で摘果作業に従事し、爽やかな汗を流しました。

（写真左）製作したフェイスガード　（写真右）農福連携、リンゴの摘果作業